

新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

会長 橋本正巳
新潟県山岳協会
上越市南城町2-3-37
TEL 025-524-7215

事務局 稲田春男
柿崎町百木1023
TEL 0255-36-3958

編集 新山協ニュース編集
委員会代表 諏訪恵一
TEL 0258-35-4373

新年会開催される

去る1月24日(日)新潟第一ホテルインベリアルホールを会場に平成15年新潟県山岳協会新年会が加盟団体、協会役員他69名の参加を得て開催された。

挨拶に立った橋本正巳協会展長から、昨年を振り返り、各専門委員会が計画した行事が成功裏に終了したこと、特に、国体では少年男子の縦走競技優勝や少年女子の縦走競技上位入賞などで山岳競技男女総合6位の成績を収めることができ、今回から種目別に得点が与えられることになり、希望の得点を得ることもできたことが報告された。また、昨年はスポーツ関連の表彰、受賞も多く、藤井信参与が新潟県体育協会スポーツ功労者賞、国体山岳競技新潟県少年男子チームが新潟日報スポーツ賞を受賞、水落竜馬理事が国体優秀指導者として、少年男子若井一樹選手、樋口大棋選手(両選手とも十日町高校)が国体優

秀選手として新潟県教育委員会表彰を受けたことも紹介された。また、今年、「甲申(きのえ・さる)」の年であり、甲は草木の種の表皮が割れ、芽を伸ばしだす姿から「はじめ」「はじまり」と訓まれており、申の漢字の一般解釈は、のびる のばす かさねる などで、伸びるの意味として、干支の「申」もこれに順じて、新しい勢力が伸びる 台頭すると受け止め



橋本会長挨拶

ている。昨年に引き続き、躍進の年にしたいと結んだ。

会長挨拶に続き、県体協スポーツ功労者賞を受賞した藤井信参与(前会長)、県教育委員会優秀指導者表彰を受けた水落竜馬静岡国多少年男子監督(理事)が挨拶に立った。また、招待者紹介では、森庄一副会長(国体委員長)が渡邊正之静岡国体少年女子監督(競技部長、ジュニア委員長)と今井浩二静岡国体成年男子選手を国体の成績と共に紹介した。

その後、室賀輝男名誉会長の音頭で乾杯となり、しばし歓談が続いた。途中所用で遅れて出席となったもう一人の招待者宮田新太郎県体育協会競技力向上ディレクターが到着し、森副会長からの紹介に続いて、静岡国体における山岳競技での優秀な成績より新潟県に得点が齎されたこと、併せてその支援体制を作った当山岳協会への感謝の言葉をもって挨拶された。山の話題と美味しい酒であったという間に時間も経ち、山田智子副会長の閉会の挨拶と万歳三唱で散会となった。

理事会にて顧問の委嘱が承認される

新年会に先立ち、同ホテル会議室にて、平成15年度第3回理事会が開催され、室賀輝男名誉会長、内藤修参与、藤井信参与への顧問委嘱が諮問され、全会一致で承認された。併せて、室賀名誉会長の最高顧問への就任も承認された。なお、理事会報告は、次頁に掲載する。

その後の挨拶に続き、藤井信参与が挨拶に立った。また、招待者紹介では、森庄一副会長(国体委員長)が渡邊正之静岡国体少年女子監督(競技部長、ジュニア委員長)と今井浩二静岡国体成年男子選手を国体の成績と共に紹介した。



藤井信顧問



内藤修顧問



室賀輝男最高顧問

平成15年度第三回理事会 報告

平成16年1月24日(土)
新潟第一ホテル

会長挨拶(橋本正巳)

議題1 専門委員会後期事業
報告及び平成16年度事業計画
(概要)

○総務委員会(七沢委員長)
報告 本日の理事会・新年会
を実施。4月の評議員会は、
高田で計画したい。

○指導技術委員会(阿部委員
長)

報告 2/21技術検定会、2/
22冬山講習会実施(新発田・
農村婦人の家、俎倉山)
質問 会場がいつも同じだが、
各地で順番に開催できないの
か(稲田)

回答 候補地があれば推薦し
て欲しい(阿部委員長)

○遭難対策委員長(楡井委員
長)

報告 3/14救急法講習会を
実施(吉田町)。16年度は未
組織登山者への啓蒙活動、岩
場・沢のレスキュー講習会を
計画。未組織登山者に対する
呼びかけを検討したい。県遭
対会議で事態が深刻になる前
にもっと気軽に県警へ利用
して欲しいと言う話が出た。

○自然保護委員会(本間委員
長)

報告 16年度も年2回の研修
会を計画、弥彦・角田の自然
保護パトロールを計画

質問 盗掘者などを注意する
際に立場がわかるようなワッ
ペン・腕章などを県山協とし
て用意できないのか(阿部)

回答 日山協や環境省のもの
を活用して欲しい(本間委員
長)

意見 ただ単に注意するだけ
で反発もあるので、パンフレッ
ト等を作成し活用してはどう
か(井)

質問 オーバーユースのため
傷んだ登山道の対応は道の付
け替えではなく、本来修復し
て利用すべきではないか(高
橋)

回答 そう思う、検討したい
(本間委員長)

○中高年登山委員会(山田委
員長)

報告 15年度は、中高年登山
教室リーダ研修会(三川村)、
中高年登山教室(高社山)を
開催したがいずれも有意義で
好評だった。16年度は両事業
を継続実施。登山教室は「登
山と健康管理」を佐渡で計画。
遭難対策と併せた研修も行い
たい。

○国体委員会(森委員長)

報告 静岡国体縦走 少年男
子1位、女子4位。藤井前会
長が県体協新年会にて「スポー
ツ功労賞」受賞。

予定 審判員研修会(2/7、
8、福井)。国体県予選(6/
5、6、関川村)北信越国体(7/
24、25、石川県)本国体(埼玉
県)北信越五県会議(新潟県
担当)(17年1/15、16)

○クライミング委員会(内山
委員長)

予定 16年度は第7回新潟カッ
プを計画(場所・期日未定)
選手育成・強化に向けて指導
者研修(年1回)、普及のため
の講習会を計画

○海外登山委員会(小林委員
長)

報告 2月21/22日に八王子
で第42回日山協海外登山技術
研究会に出席予定

16年度は、チアジャジマ峰登
山(7月中旬から8月中旬)
を実施(阿部隊長)。長野県中
高年登山団体連絡協議会主催
のガンシカ峰登山隊(200
4.9.16/10.10)後援を予定

○婦人委員会(山田委員長)

報告 15年度は名立町・不動
山で親睦登山を実施、100名弱
の参加で60名が登頂した
○ジュニア委員会(渡辺委員
長)

報告 16年度は4月下旬にジュ
ニアカップを糸魚川で開催を
予定

○会報委員会(諏訪委員長)

報告会報の発行が遅れている
が協会三役の承認を得て12月
号をページ減で発行し、1月
号から軌道化する。原稿の依
頼には協力をお願いしたい。

質問 新しい加盟団体などが
協会の歴史を知るために「新
山協ニュース」を希望者に創
刊号から提供してはどうか
(山田智)

回答 委員会にもバックナン
バーが無いため今年度中に整
備を行い、希望者には実費で
提供できるよう計画したい

議題2 64国体への対応

・選手が中心が今の小学5、
6年生になる

・クライミング競技の審判員
養成が急務

・選手強化には、常設施設が
必要

・施設設置の地元で指導者が
必要。指導者養成・指導者へ
の支援体制構築

・準備委員会の立ち上げ(準
備は森委員長を中心に行う)

議題3 その他

・静岡国体カヌーの結果 16
団体及び、33名の方々から合
計金額380,000円を頂
いた。

・「新にいがた花の山旅」
(仮称)の作業状況 上越地
区・七沢委員長、中越地区・
片桐理事長、下越佐渡地区・

山田副会長にそれぞれとりま
とめをお願いし、資料配付を
開始したので、協力をお願い
したい。(理事長)

・日本中央分水嶺踏査計画
日本山岳会百周年記念事業と
して、予備調査2003/9
、最終報告書2006/12
の計画があるので、協力を願
いたい。(平田越後支部長)

・協会加盟団体・会員の動向
朝日山岳会が、協会を退会。
新潟鉄工山の会が、工友会に
会名変更された。協会参与・
笠原藤七氏(101才)が7月10
日に逝去された。自然保護委
員の渡辺靖男氏(63才)が12
月28日に急逝された。(理事
長)

・各種授賞のお知らせ 県教
育委員会より水落理事が優秀
指導者賞を授与された(11/
28)。国より土田参与が瑞宝
小授章の叙勲を受けられた
(11/3)。県体育協会より
藤井参与がスポーツ功労者賞
を授与された。(理事長)

・諮問 室賀名誉会長、内藤
参与、藤井参与を「顧問」に
委嘱したいとの提案があり、
理事会で異議無くこれを了承
した。併せて室賀名誉会長の
「最高顧問」への委嘱を了承
した。

終了挨拶(室賀名誉会長)

報告 片桐一夫理事長

さわがに山岳会

小野 健さんが

NHK地域放送文化賞を受賞

NHK地域放送文化賞を受賞して

さわがに山岳会 小野 健

図らずも、NHK第9回地域放送文化賞を受賞し、大変 関係の受賞は非常に稀らしい

当新山協ニュースに「山と岩石」の連載をお願いしている小野健さんが2月23日、NHK関東甲信越地域放送文化賞を受賞された。

さわがに山岳会の会長として、1966年から5年間にわたって北アルプスの朝日岳（2,418m）から日本海（親不

知海岸）に抜ける全長約30kmの登山道「梅海新道（つがみしんどろ）」を開削、全通させ、その維持管理に携わった地域活動が評価されたもの。小野さんから、今回の受賞についてコメントを頂いたので、紹介する。



小野 健さん近影

とのこと。

評価の対象となりましたのは、梅海新道の開設によって、アルプスと海をつなぐ完全縦走登山を実現し、その後も、自然保護活動を推進したこと、そして、梅海新道や登山に纏わる話でラジオ・テレビに出演し、地域社会及び地域放送に貢献したことの二つの理由があります。

ふり返ると、40数年間に亘り、大勢の仲間の協力に支えられ、0.3、0.00m縦走の夢を実現し、新道の維持管理が成されてきました。今回の受賞は、これら共に汗を流した人達を代表して私が頂いたと思っています。

この受賞を契機に、これからも協力者と共に、アルプスと海をつなぐユニークな梅海新道の子守りを続けて、次世代に残していければと願っています。

原稿募集のお願い

山開き案内、行事紹介、記念会報発行、各種情報提供などありましたら、会報編集委員会までお送りください。お願いいたします。



アヤメ平から黒岩平の草原と樹林帯の棲み分け

山と岩石

さわがに山岳会 小野 健

②9 北ア最北の桃源郷

北ア朝日岳以北は、1971年に梅海新道が開通して、アルプスから直接親不知の日本海まで縦走が可能になりました。近年は、秘境コースとして、登山者に親しまれるようになりました。

朝日岳の北斜面・長梅山頂上・黒岩山の南部は、飛騨外縁帯に属する蛇紋岩が広く分布して、山頂部に風衝帯を形成して好アルカリ性の植物が点在しています。蛇紋岩の間にも、同層のはんれい岩・片岩が露頭となって尾根筋を形成し、その間には、アヤメ平・黒岩平の準平原的な凹地が広がっています。北西の季節風は、尾根を通過してこれらの凹地に大量の積雪を齎し、北ア最大の積雪量となるのです。この積雪量の差は、植生を樹林帯と草原帯に分けて四季の変化を豊にし、夏になると登山者の足が止まってしまうような、百花繚乱の桃源郷を見せてくれるのです。

そして、黒岩山より北に向かって、地質地形を一変し、アンモナイトの地層へと移ります。

山岳遭難共済保険のご案内

誰もが遭難事故を起こそうと思いませんが、天候の急変やアクシデントで事故に遭う場合もあります。万が一の場合に備え、日本山岳協会山岳遭難共済保険への加入をお願いします。

① 共済のあらまし

日本山岳協会傘下都道府県山岳連盟(協会)加盟団体の会員を被保険者とする遭難捜索作業救助費用付団体普通傷害保険です。

② 加入資格

日本山岳協会傘下都道府県山岳連盟(協会)加盟団体の会員

③ 保険期間

平成16年4月1日～平成17年3月31日午後4時迄

④ 特別共済

中高年ハイカー・軽登山愛好者・高校山岳部を対象とした新しい制度です。常時、ピッケルやアイゼン、ザイル等を使用しないで登れる軽登山行為が対象

⑤ 海外登山共済

山岳遭難共済加入者を対象に、海外登山での補償を追加する共済保険です。補償期間は、海外山岳共済加入後、平成17年3月31日までの間に海外への山岳登山の為に出発した通算して2ヶ月間(60日間)以内の期間。

※その他詳細の問合せ、共済申込書協会控えは事務局までお願いいたします。



先月号の国体カンパ報告に次の2名の方が漏れておりました。お詫びいたします。

小野健さん、望月力さん (事務局)

山 岳 遭 難 共 済

| | 契約基本タイプ | | | | |
|--------|---------|--------|--------|---------|---------|
| | A | B | C | D | E |
| 死亡・後遺症 | 180万円 | 200万円 | 300万円 | 400万円 | 1000万円 |
| 遭難捜索費用 | 200万円 | 200万円 | 250万円 | 350万円 | 500万円 |
| 個人賠償責任 | | 1億円 | 1億円 | 1億円 | 1億円 |
| 会 費 | 5,500円 | 6,200円 | 8,000円 | 11,000円 | 18,000円 |

※上記各コースには、入院・通院の保証は付帯されません。

| | | 保険金額(1日につき) |
|---------|--|-------------|
| 入 院 | | 3,300円 |
| 通 院 | | 1,000円 |
| 追 加 会 費 | | 4,000円 |

※入院保険金・通院保険金を付帯する場合は、4,000円が各コース会費に加算されます。

特 別 共 済

| タ イ プ | I型 | II型 |
|-------------|--------|--------|
| 会 費 | 3,000円 | 6,000円 |
| 死亡・後遺障害保険金 | 300万円 | 300万円 |
| 救援者費用保険金 | 300万円 | 300万円 |
| 個人賠償責任保険 | 1億円 | 1億円 |
| 入院保険(1日につき) | 2,000円 | 4,000円 |
| 通院保険(1日につき) | | 1,700円 |

海 外 登 山 共 済

| | |
|---------|---------|
| 死亡・後遺障害 | 100万円 |
| 救援者費用 | 500万円 |
| 個人賠償責任 | 1億円 |
| 追加会費 | 10,000円 |

※海外登山共済は、この保険単独では加入できません。

登山・アウトドアの専門店



新潟市東大通2丁目5番1号 ☎(025) 243-6330(代)

登山・ハイキング・クライミング テレマーク&山スキー



パーマーク
長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)
TEL0255(37)1200-FAX0255(33)1164
●営業時間/AM10:30~PM8:00水曜定休

<http://www.parrmark.co.jp>